

事例作成日	2020年6月12日	登録日時		更新日時	
質問	①熊谷市塩地区にある巨大榎に関する資料全般。樹齢、大きさ、大木に関するいわれ、出来事など知りたい。				
回答	塩字明賀にある大榎。滑川町和泉地区に行く近道で、ここから峠に入る入り口の目印となっている。 樹齢300年位。インターネットの環境省の巨樹・巨木データベースによると、樹高7 m、幹周囲4.3 m。 『江南町史 資料編5 民俗』P831には、「塩の明賀にある大榎の元にあるお地藏様も疣地藏とも呼ばれ、疣を取ってくださいと言って、泥の団子を供えて祈願し、願いがかなえられると、お礼に今度は本物の団子を供えるようです。今でも時々団子が上がっているそうです」とあり。 写真として『江南町史 通史編 下』裏表紙の裏、『広報江南』2000年2月No. 324 P12 「のこておきたい江南風景 土地改良によって、この木は伐採も検討されましたが、あまりにみごとな榎木、そして傍らの石仏に神木を感じ、残されたものです。」、『写真集 江南の四季』P49 「一本榎の秋」あり。				
参考資料	『江南町史 資料編5 民俗』P831 平成8年 『広報江南 No. 324』P12 平成12年 『江南町史 通史編 下』裏表紙裏 平成16年 『写真集 江南の四季』P49 平成17年				